

埋蔵文化財発掘調査ニュースNo.5

あ じゃ めえ ぼる
安謝前原遺跡・

あ じゃ あがり ぼる みなみ
安謝東原南遺跡



1996年3月

那覇市教育委員会

発行/那覇市教育委員会 〒900 沖縄県那覇市樋川12-8-8

TEL (098) 853-5775

編集/那覇市教育委員会文化課
印刷/文進印刷株式会社

安謝前原遺跡・安謝東原南遺跡発掘調査

ニュース

(1) はじめに

天久解放地(214ヘクタール)には、先史時代から琉球王府時代までの幅広い時代の遺跡が12ヶ所確認されています(第1図)。

那覇市教育委員会は、「那覇新都心区画整理事業」を進めている地域振興整備公団から委託を受けて、同地区内の発掘調査を行いました。調査は1990年7月に開始して、1995年3月に終了しました。

今回は、1994年9月と1995年2月に発掘調査を行った「安謝前原遺跡」と「安謝東原南遺跡」について紹介いたします。

(2) 安謝前原遺跡の概要

安謝前原遺跡は、那覇市大字安謝小字前原316番地一帯に所在します。1993年11月、天久解放地内の土地区画整理作業中に発見された遺跡です。

遺跡は、『埋蔵文化財発掘調査ニュースNo.4』で紹介した「ナーチャー毛古墓群」の所在する丘陵北東側の緩斜面に形成されています(第2図)。

遺跡の土(遺物包含層)の中から、在地で

つくられた素焼きの土器が数多く出土しています。これらの資料に混じって、奄美地方特有の文様を持つ土器が確認されました。また弓矢の先に付ける「黒曜石」製の矢じりも出土しています。「黒曜石」は九州地方などに産出するガラス質の石で、古くから石の道具(石器)として使用されていたことが知られています。

これらのことから、「安謝前原人」が生活していた時代には海を越えて、九州・奄美地方との交流を行っていたことが想像されます。

また、遺物包含層の土を「フルイ」にかけての結果、炭化した種子などの興味深い資料も見つかっています。

その他に、「ピット」と呼ばれる遺構が106基も確認されました。

従来ピットとは、「柱を立てた穴」・「食物を貯蔵するための穴」などと考えられています。本遺跡で検出されたものは、直径約10cm前後で、浅いものが多く、並び方も不規則です。これらのことから、本遺跡のピットが何のために掘られたものか判断することは困難でした。今後、資料の増加に伴って、その性格が解明されていくものと考えられます。

(3) 安謝東原南遺跡の概要

安謝東原南遺跡は、那覇市大字安謝小字東原609番地一帯に所在します。1994年9月「銘苺古墓群(北地区)」の発掘調査中に発見された遺跡です。

解放地内を南北に流れる銘苺川と大湾川は羽衣伝説の残るスグルクガー(湧水)付近で合流して多和田川となります。遺跡は多和田川の西岸に形成されています(第2図)。

遺物包含層は、崖上の傾斜した地形に堆積していました。この土の中から、中国産陶磁器・カムイ窯須恵器・くびれ平底土器・グスク土器・滑石混入土器・石器・羽口・獣骨など多種多様な遺物が得られています。これらの資料は、沖縄貝塚時代後期(弥生時代～平安時代)からグスク時代(鎌倉時代以降)にかけてのものですが、一部に縄文時代晩期の土器も確認されています。

遺構としては、炉跡(2基)・溝状遺構(2基)・ピット群などが検出されています。

1号炉跡は、楕円形(70cm×57cm)に掘り込まれたもので、壁は火を受けて赤く焼けていました。底面には炭が2cmほど堆積していました。この炉跡は、保存状態が良好なこと

から切り取って保存しています。今後、展示資料として活用していく予定です。

ところで、本遺跡から約50m北方に、『埋蔵文化財発掘調査ニュースNo.3』で紹介した「安謝東原遺跡」が立地しています。この二つの遺跡は、崖の斜面部に立地することや出土した遺物が類似していることなどから本来は崖上の台地上に営まれた同一の遺跡であった可能性が高いと考えられます。

(4) おわりに

今回紹介した2つの遺跡については、より詳細な資料整理を進めると同時に、土壌分析や放射性炭素年代測定などの化学分析も行っていきたいと考えています。その資料整理作業の一環として、今年2月、奈良国立文化財研究所の松井章先生を招き、遺跡から検出される土壌の取り扱いについて化学的な視点から指導を受けました。

今後、このような分析や検討を行いながら遺跡の全体像を明らかにしていきたいと考えています。

安謝前原遺跡



調査の開始
(グリッド設定作業)



遺跡の全景



遺構の実測風景



検出されたピット群



発掘調査作業の風景



遺跡の層序

安謝東原南遺跡



遺跡の全景



発掘調査作業の風景



遺構の配置状況



検出された炉跡



遺構の実測風景



遺跡の層序



安謝前原遺跡出土遺物
上：土器
下：石器

安謝東原南遺跡出土遺物
上：土器
下：白磁玉縁口縁碗（中国産）・鉄製品・石器